

補聴器フォーラム福岡2024

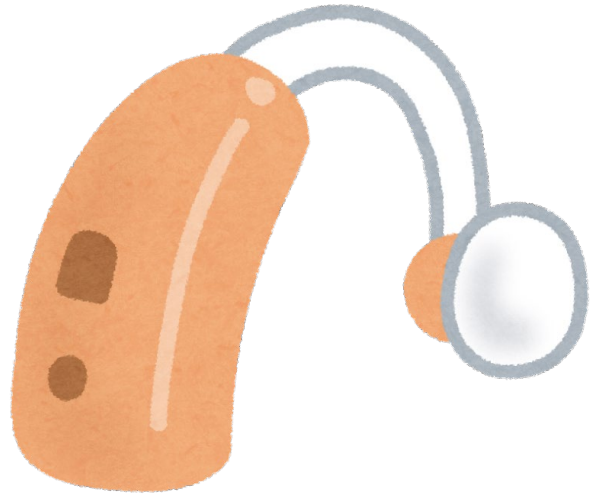
補聴器診療の課題

なかがわ たかし

中川尚志

九州大学大学院医学研究院

耳鼻咽喉科学分野



このスライドは補聴器フォーラム東海2023の柘植勇人先生, 増田佐和子先生が使用したものを改変しています

世間での補聴器事情

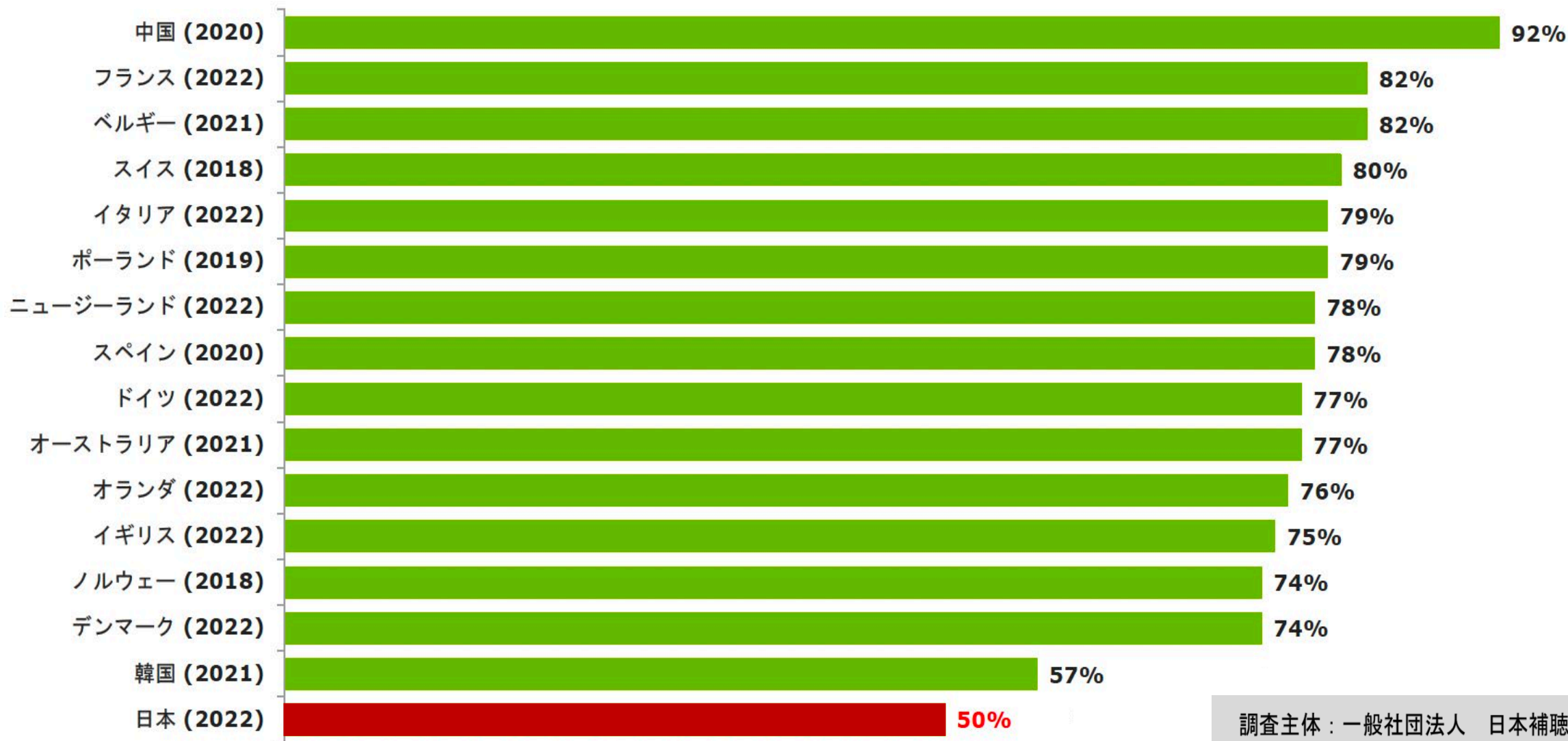


装用時の第一印象がわるくて購入をやめてしまったり、

購入しても満足できずしまい込んでしまう難聴者はたいへん多い

これは世界共通の問題ではなく、日本での課題！

補聴器満足度の比較



JapanTrak 2022より

調査主体：一般社団法人 日本補聴器工業会
後援：公益財団法人 テクノエイド協会
協力：EHIMA (欧州補聴器工業会)

補聴器の購入パターン

- ✓ メガネ店から購入

営業スキルは高いが、補聴器の知識は少ない

- ✓ 補聴器フェアや販売会がきっかけで、訪問販売による購入

- ✓ 耳鼻咽喉科クリニックにきている補聴器技能者から購入

補聴器装用下の測定をしていない

- ✓ 認定補聴器専門店で購入

ばらつきが大きく限界がある

- ✓ 日耳鼻の認定を受けた補聴器専門外来で購入

遠方、敷居が高い、
高齢者には負担が大きい

この全てに課題がある

事例からみえてくるそれぞれの立場の問題

さらに通販、眼鏡店・
電器店などでの販売



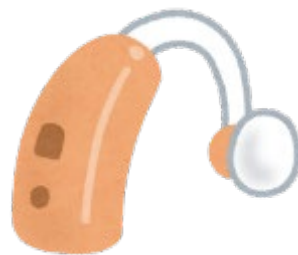
販売店

- ✓ 機種や耳せんが適切に選択できていない
- ✓ 適切な調整ができていない
- ✓ 不具合を訴えると新規購入を勧める
- ✓ 医師からの問い合わせに返答しない



ユーザー

- ✓ 難聴を自覚すると耳鼻咽喉科ではなく販売店に行く
- ✓ 難聴が悪化しても販売店で相談
- ✓ 通院を勧めても受診しない



耳鼻咽喉科

- ✓ 難聴者に補聴器に関する適切な情報提供ができていない
- ✓ 自院で調整できる機種は限られる

補聴器購入におけるおすすめの流れ

① 診察、適応判断

医師

② カウンセリング

医師、言語聴覚士

③ 補聴器の調整

認定補聴器技能者、言語聴覚士

④ 補聴器適合の判断

医師＋言語聴覚士＋認定補聴器技能者

医師だけ、言語聴覚士だけ、補聴器販売者だけでは不十分

現状を改善するために
補聴器相談医の皆様へのお願い

補聴器適合検査の指針(2010)に示された8検査

 補聴器をつけた状態での検査

必須項目

- ① (補聴器装用下の)語音明瞭度曲線または語音明瞭度の測定
- ② 環境騒音の許容を指標とした適合評価

参考項目

補聴器装用下の検査による評価が重要

- ③ 実耳挿入利得の測定(鼓膜面音圧の測定)
- 4 挿入形イヤホンを用いた音圧レベル(SPL)での聴覚閾値・不快レベルの測定
- ⑤ 音場での補聴器装用閾値の測定(ファンクショナルゲインの測定)
- ⑥ 補聴器特性図とオーディオグラムを用いた利得・装用閾値の算出
- 7 雑音を負荷したときの語音明瞭度の測定
- ⑧ 質問紙による適合評価

(音場検査のできない)

補聴器相談医の先生にお願いしたいこと

- ✓ 正確な標準純音聴力検査データを提供する。
- ✓ 必要な測定が可能な**認定補聴器専門店の認定補聴器技能者**と組む。
- ✓ 患者に以下の説明を行う。
 - 「試聴開始時にうるさく感じるのは当然で、その感覚は変化します」
 - 「調整途中に必要な測定があるので、店舗に出向く必要があります」

補聴器の適合評価は、認定補聴器技能者から報告された適合測定の結果を
読み取り、患者の満足度を確認して判断する。

上手くいっていない場合は、**認定補聴器技能者とその理由**を探してほしい。

補聴器フォーラム午前の部の参加の皆様にお伝えしたいこと

「難聴者が補聴器を満足して使用するために」

- ✓ 補聴器の適切な調整には、正確な気骨導の聴力検査が必要。
調整途中には補聴器装用下の検査(測定)が必要。
- ✓ 音場検査ができない補聴器相談医は、必要な測定が可能な
認定補聴器専門店を拠点とする認定補聴器技能者と連携を。
- ✓ 患者の補聴器の満足度が上がっていない場合は、認定補聴器
技能者とディスカッションして一緒に理由を探してほしい。



市民の皆さまへのメッセージ

- ◆ 聞こえづらさを感じたら、補聴器相談医に受診しましょう。
- ◆ 難聴の期間が長くなると調整が難しくなります。
- ◆ 基本的に「調整した補聴器をつけて 聞こえ具合を測定」
これを繰り返しながら 調整を進めます
- ◆ 補聴器に満足されていない場合、理由を探る必要があります。
その際は、最寄りの補聴器専門外来に相談しましょう。